

「図書館を使った調べる学習コンクール」にチャレンジしよう！

調べる学習の進め方とまとめ方のポイント

荒川区教育センター 学校図書館支援室

☆調べる学習チャレンジ講座に応募したみなさん、調べる学習に取り組んで、夏の素敵な思い出をつくってください。調べる学習の進め方やそのまとめ方についてのヒントをお伝えします。自分の力で進めていくときに使ってください。

- ♡ たのしくすすめよう！
- ♡ あきらめずにすすめよう！
- ♡ まわりの人たちにそうだしながらすすめよう！

調べる学習はドキドキわくわく！
なぜ解きのたんけんを
楽しんでね！



調べる学習はこんなふうに進めよう

- 調べる学習をスタートするのに用意しておく便利なもの
 - ・クリヤーファイル、ポケットファイル、ノート、大きめのふうとうなど
どんどん進んでいく学習の記録やメモ、調べた情報カード、写真や資料がばらばらにならないように、しっかりまとめてとっておける（保管）ものがあると、いいですよ。
 - ・メモカード（百均ショップなどにもあります）
調べた情報を書いておくものです。ノートでもいいですが、カードのほうが選んだり並べたりできて便利です
 - ・A4ポケットファイルまたは八つ切りサイズのスケッチブック
調べたことを作品にまとめて出品する時に便利です。
ポケットファイルは中身を入れかえられるので、後から内容を変えたい、増やしたい、順番を変えたいと思った時でも、やり直しがしやすいです。
スケッチブックはしっかりした紙でできているので、はり付けたい資料がたくさんある時には、台紙の役割をして便利です。
※作品のきまりで、50ページまでとなっていますので、ポケットの数や、ページ数を考えて用意するといいですね。
なにを用意するかは、まわりの大人の人に相談しましょう。

あなたはどんなことが
がすき？
とても気になっている
ことはなにか？

2 調べる学習コンクールの作品の組み立てを知っておこう

① テーマと知りたいこと、疑問

- ・テーマをえらんだわけや、どうして知りたくなったのか、についても書こう

② 予想と調べ方、調べる計画

- ・疑問について、こうかなと思うこと（予想）とそのわけを書いておこう
- ・図書館で、ネットで、実験、観察、見学、インタビューなど調べ方の作戦を書こう



③ ^{しら}調べて分かったこと

- ^{しら}調べて分かったことを^か書こう
- ^{ぶん}文で
- ^す図や^{しゃしん}写真で
- ^{ひょう}表やグラフで

^{ほん}本はかならず2さつ以上^{いじょうつか}使って
調べるのがやくそくだよ。
^{ほん}本や^{しんぶん}新聞、ネットなど、
使ったじょうほうの^{きろく}記録は
わすれずに^か書いておこう



④ ^わ分かったことから^{かんが}考えたこと、^{おも}思ったこと（ふりかえり）

- ^わ分かったことを^{みじか}短くまとめよう
- ^{よそう}予想は合っていたかな？ちがっていた？

^{しら}調べて分かったことでおどろいたこと、^{かんが}考^かえが変わったこと

もっと知りたくなった、やってみたくなったことは？それはなぜだろう？（^{こうさつ}考察）

- ^{しら}調べている中で^{なか}楽し^{たの}かったこと、うれしかったこと、^{こころ}心に残^{のこ}ったこと

^{かんしゃ}感謝していること（^{かんそう}感想）

⑤ ^{つか}使ったじょうほうリスト（^{しゅってん}出典）

- ^{しら}調べるとき^よ読んだり^み見たりした^{ぜんぶ}全部の^{ほん}本
- ^{しら}調べるとき^み見たインターネットのサイト
- ^{しら}調べるとき^み見た^{しんぶん}新聞
- その他 ^{ほか}いった^{はくぶつかん}博物館などの^{ばしょ}場所

^{きょうりよく}協力してもらった人など

^{ほん}本を読んだり^か借りたりした
図書館の^{なまえ}名前も

わすれずに^か書いてね。

だって、「^{としよかん}図書館を使った^{しら}調べる」^{がくしゅう}学習コンクール
だもん。



あなたの調べるたんけんを
おうえんしているよ！

3 しら がくしゅう 調べる学習のくわしい進め方

NO	ステップ	じぶん すすめる 自分で進めること	アドバイス
1	テーマをきめる すごく好きなこと とても気に入って いることをテーマ にすると調べるの が楽しくなるよ。 図書館で 調べるテーマにつ いての本があるか 聞いてみるのも、 大切だよ。 	・自分の好きなことやふしぎだな、な ぜかなと思うこと、解決したいこと などを思いうかべて、言葉でたくさ ん書き出してみよう ・もし、書いた言葉の中で関係があり そうなものがあったら、線でつない でみよう ・いちばん調べてみたいことがらや、 テーマ、疑問をえらんで赤えんぴつ などではっきりしるしをつけよう 調べたいことを質問の言葉を使っ て文にしてみましょう 質問の言葉 いつ？だれが？どこで？ どのくらい？（いくつ？） どんなふうに？なぜ？ ～ってなに？ ～ってほんとうかな？ ～のためにひつような～は？ などの言葉をつけて、調べることを文 に書き、はっきりさせておこう。	・白い紙やノートを使って 時間をかけて、しっかり 考えよう。 ・実は、調べる学習の中で 最も大切なこと。あま り興味がないことや、そ んなにすきでないこと、 困っていないことを選 んでしまうと、うまくい かない。本当に調べたい ことは何かよく考えて 決めよう。 あらいみアドバイス！ 考えた質問ってつぎのどれかな？ ① 図書館などですぐ調べられそ うーよし、すぐ調べよう！ ② 予想は考えられるけど、い ろいろ調べないと分からない なーいろんな本や方法でじっ くり調べよう ③ この答えって見つかるのか なあ？ーむりに調べなくても いいかも。 
2	えらんだ理由を書く	・調べようと思ったきっかけを文で書 こう	・すき、きらい、困ってい るわけ ・出会ったときの気持ちや 思ったこと ・不思議だなと思ったわけ ・びっくりした、感動した

	たとえば、ぼくは、今年のゴールデンウィークに（いつ）、おじいちゃんのうちに（どこで）行きました。 おじいちゃんは、ほしていたふとんを取りこむとき、ものすごくパンパンたっていたので（不思議に思ったこと）、どうしてそんなにたたくのと聞いてみました。すると、「今年はすごくカメムシが多くて、気を付けないとくっついてきて、寝るときすごくさいんだ。」（あったこと）といいました。ぼくは、どうして今年はそんなにカメムシが多くなったのか知りたくなりました。（疑問） のように、体験したことを書きながら自分がどんなことをきっかけで調べたくなったことやわけを書いていくといいよ。	ときのこと - なぜ調べたいと思ったのかを、くわしくていねいに書きましょう - 気持ちだけではなく、今まで体験したことなども入れて書くと読む人によく伝わる。 最後のふりかえりをするときにも役だつ。
3 自分の意見や予想を書く	- なにを調べるのかをはっきり文で書いてみよう（調べたいことはまずは3つぐらいにしぼろう） - 調べることについて、自分が考えたり予想したりすることを書いておこう - どんな調べ方があるか、できそうかまわりの大人にも相談しておこう（研究計画の準備）	- 調べることについての、予想や考え、その理由も、書いておこう 「なんとなく」ではなく今までに自分が見たことや感じたこと、知っているなど体験をもとにして書こう。 あらいみアドバイス！ 予想は調べ終わった後のふりかえりのとき大切になるよ。
4 調べ方を決める （研究計画を立てる）	- 調べることがらによって、どんな調べ方が合っているか考えて計画を立てよう 1 本などの資料で調べる 新聞・雑誌・パンフレット・ポスターなども使おう 2 インターネットを使う - キーワードで調べる	コンクールに応募する場合、必ず本を2さつ以上利用すること。

	いろいろな調べ方があるね。 知りたいことに合わせて、調べ方を組み合わせてみよう。 	・メールなどで質問する 3 人に聞く（インタビュー） 4 アンケートをとる 5 実験・観察する ※写真や動画、メモで記録をとっておく 6 体験する・自分で作ってみる 7 現地に行って、調査・取材する 7 実物を見学する （博物館・美術館・資料館・動物園・水族館・工場など）	・予約が必要なところもあるので、よく調べよう。 ※事前に問い合わせると、質問に答えてくれる場合も
5	調べる 調べるために使う本は 低学年は3歳 ちゅうがくねんいじょう 中学年以上は 5歳ぐらいは用意しよう いろいろな方法で調べよう	1 本や資料で調べる ・研究計画メモを持って図書館に行く （もちろん学校図書館でもOK） ・必要な本を自分で探してみる ・司書さん（司書の先生）に相談する ・困ったときはまずは 百科事典を調べてみよう ・文章を見つけたら、大事なことを選んで情報カードに書きぬく ・調べたいことがらによっては、図鑑や学習年鑑も使おう ・もっとくわしくのっている本も探して調べる ・自分の予想したこととの違いや同じだったことも書く ・1つの調べたいこと（質問）については、2歳以上の本で調べよう ・調べるだけでなく、本から分かった 	あらいみアドバイス！ 分かった情報はカードに整理しておくとう便利です。本とネットの情報カードの見本を、一番後ろにつけておいたので、まねしてみてね。 ・「〇〇の本はありますか」ではなく、「〇〇の△△についての本をさがしています」などなるべく知りたいことをはっきり伝えて相談しよう。 ・百科事典はあいうえお順にのっています。 ・図鑑で調べるときは、目次と索引から ・それぞれの本に書いてあることがちがっていたら、そこから新しい？が生まれるかも。 ・本のページの複写は、必要なところだけ。

調べるとき、出典
を書くのは、とても
大切！

あなたがみつけたこ
とが「確かにありま
した」という
もことになるからね。



こと、気づいたこと、もっと知りた
くなったこと、疑問などもメモに書
いておく（考察に使える）

・新聞記事やパンフレットからも
情報を探してみよう

・使った本や新聞の情報を記録する

出典といいます

★本の情報カードに書くこと

- ① 調べた本の名前
- ② 書いた人
著者・作者・文・作編集者、監修
など
- ③ 出版社
- ④ 出版年

※奥付（本の一番後ろ）を見て書く

- ⑤ のっていたページ
- ⑥ 図書館で借りた本は請求記号
（本の背表紙にはってあるラベ
ルに書いてある記号）

※利用した図書館の名前も書いてお
く

★新聞の情報カードに書くこと

- ① 新聞の名前
- ② のっていた年月日・朝刊、夕刊
- ③ ページ
- ④ どこの地方版なのか
- ⑤ 刷り→新聞の一番上に○刷りと小
さく出ている

★パンフレットなど

- ① パンフレットの名前
- ② 発行しているところ
- ③ 発行年月日（分かれば）

・もっと知りたいことが生
まれたら、新しく疑問
を立ててよりくわしく
調べていこう。

・パンフレットやポスター
などでもらえる資料が
あったら、関係する人に
ことわってもらおう。

※使った本の情報は忘れ
ずに記録しよう。

・自分の考えの元になる
情報となる。最後には
資料リストにのせる。

・ページを記録しておく
もう一度調べたいとき
に、すぐ探せる。

※同じ日の同じ地方のも
のでも紙面が違うもの
がある。

ネットで調べるときは、サイトが信頼できるか、おうちの人にもいっしょにみてもらおう。

学校でつかっているSagasokka!で調べた言葉につながっているサイトから調べてみるのもおすすめだよ



2 インターネットを使って調べる 信頼できるサイトを見よう。

(例)

- ・荒川区立図書館子どもひろばリンク集
 - ・都立図書館こどもページ
 - ・国際子ども図書館キッズページ
- などから、検索してみよう

★情報を利用するときは記録すること

- ① 発信元 (作成者)
- ② Web (ウェブ) ページ名
- ③ Web (ウェブ) サイト名
- ④ URL (ユーアールエル)
- ⑤ 更新年月日
- ⑥ 調べた年月日

(例) ツバメってどんな鳥

- ① 公益財団法人日本野鳥の会
- ② ツバメってどんな鳥
- ③ 消えゆくツバメをまもろう
- ④ <https://www.wbsj.org/activity/conservation/research-study/tsubame/whatis/>
- ⑤ 2021.3.29
- ⑥ 2021.6.16

3 人に聞く (インタビュー)

- ・会って聞く
- ※録音させてもらおうとよい
- ・手紙を出してたずねる
- ※返信用封筒と切手をお忘れなく
- ・ZOOM (ズーム) などを使う
- ・ラジオ番組などで質問して、専門家の人に聞く

・インターネットのサイトは、国の機関や公的 (都、県、市など) 機関が子ども向けに開いているものがある。

- ・人や物を録音、撮影するときは、必ず相手の人に許可をとる。
- ・協力してくれる人がいるときは、前もって連絡をきちんと取り、マナーを守って取材しよう。

4 アンケートをとる

- 調べたいことが分かるためにはどんな質問をするのか考える
- 答えは選んでもらう？
文で書いてもらう？
- どんな人に協力してもらうのか
- 何人ぐらいにお願いするのか

5 実験・観察する

- 実験では、2つ以上のことがらを調べるときは、条件のそろえ方、変え方に注意する。
- 観察は必ず調べた日付を書く
- 観察をつづける場合は、毎日同じ時刻に調べる
- 生き物、植物の様子などは写真にとるだけでなく、ていねいにスケッチするとよい
- 気づいたことは、くわしくメモに書く。新しい疑問が生まれるかも
- 表などを用意し、データと写真などで記録を正確に取ろう

6 体験する・自分で作ってみる

- 現地に行って、調査・取材する
- 写真、動画、メモなどで記録をていねいに取っておこう

• アンケートには質問だけではなく、調べていることや、知りたいことについて書き、協力してくれる人に説明しよう。

- 前もっての計画や準備が成功の鍵。
- 安全に進められるよう大人に相談しておこう

- 体験には準備や予約が必要なこと、時間がかかることもある。できるかどうか、安全かなど、大人に相談して取り組もう。
- 取り組んでいる様子を写真や動画、録音などで記録しておく、後でまとめやふりかえりの役に立つ。

ほんもの ^み
7本物を見る
 はくぶつかん びじゅつかん どうぶつえん すいそくかん
 博物館・美術館・動物園・水族館・
 たてんらんかい しりょうかん ほんもの
 その他展覧会や資料館などで本物を
 みる

分かったことを整理して、そこから
 もっと知りたくなったことが出
 てきたら、どんどんつづけて調べ
 ていこう。
 たんけんが楽しくなっていくよ。



しら かつどう おわ あつ
 13調べる活動が終わったら、集めた
 カードや写真、データを全部並べ
 て、整理したり、順番に並べたり
 して、そこから分かったこと、考
 えたことを文に書いておく。
 (まとめの準備)

ほんもの じっさい
 ・本物を見ること、実際に
 だいいけん
 体験することは、調べる
 かつどう おお ちから
 活動では大きな力にな
 る。あたらしい ぎもん
 新しい疑問が生まれ
 れることも。
 しゃしん きろく と
 ・写真など記録を取ってい
 いか、かかりひと きょか
 いか、係の人に許可を
 とる。
 ほんもの み
 ・どうしても本物が見られ
 ないときはそれぞれの
 こうきょうしせつ
 公共施設のもつデジタ
 ルアーカイブスを利用
 することもできる。

※調べて分かったこと
 じっけん かんさつ
 実験・観察したことか
 ら、またぎもん
 わくしく知りたくなった
 ことが見つかったら、
 あきらめないで、しら
 べてみよう。
 きっと、もっとおもしろ
 い、びっくりする発見が
 まっていますよ。レッツ・
 チャレンジ！

6 しら わ
 調べて分かったこと
 を見やすくまとめる

・しら せつめい ぶん かんが
 調べたことを説明する文を考えて
 書く

しら わ じょうほう
 ★調べて分かった情報をメモやカード
 などをもとに書く。

つか しゅしん す えら
 ★使う写真や図、スケッチを選んだ
 り、はる じゅんばん なら
 順番に並べたりする

※ほん ネット、パンフレット、新聞な
 どのからの じょうほう つか とき
 情報の情報を使う時には

あらいみアドバイス！

自分で作ったキャラクタ
 ーを使って、まとめやちょ
 っとしたコメントを吹き
 出しに書くとなんか分
 りやすくまとめられるよ。



		かなら じょうほう しゅってん しゃしん 必ず情報のそばに、出典と写真・ 図の説明を(キャプション)を書こ う ※写真やほかの紙にかいた図や表を はるときは、はがれないようにしっ かりはること。(スティックのりは とく ちゅうい 特に注意) ★データをもとに表やグラフをかく または使いたい表やグラフを準備 する ★分かったことをまとめて書く 調べてきたことをふりかえて、 分かったことを整理して短い文に まとめる。 かじょう書きをつかってみよう ・自分が調べて分かったことや考えた ことが伝わるものになったか かくじん 確認する。	・自分の発見や、調べたこ とがよく伝わるように、 必要な情報を選んだり、 書く順番を考えたり しよう。 大切な言葉や文にはラ インを引いたり目立つ 色にしたりして、伝わり やすい工夫をしよう。 ・図やグラフなどは図鑑や インターネットにのっ ているものを気軽にコ ピーして使わない。特に 図はできるだけ自分の 力で描いたり写したり しよう。 ・表には表題とそれぞれ の単位を忘れずに ・グラフは伝えたいことが 伝わるように、縦軸のメ モリの大きさや単位を 工夫しよう。 ・まわりの人にも見てもら って分かりやすくなっ ているかチェックして もらおう。 (いったん、ポケットファ イルなどにいれてみる と、よくわかる)
7	ふりかえる	・考察(考えたこと)を書く ★予想は当たっていましたか？その 理由は？	・作品の中でとても大切な ところですよ。つかれてい ると思いますが、もうひ

どう？

あなたのがんばりや楽しさが、
伝わるページができたかな？
ゴールは近い、あとひといきだよ。
ページ数50Pは守れそうかな？



		★始めに知りたかったことは、分かりましたか？ ★調べる前と後で、考えや行動やものの見方が変わったことは？それはなぜ？ ★つづきがあればやってみたいこと、調べてみたいことは？ ・感想を書く 調べる活動の中で楽しかったこと、大変だったこと、感謝していることなどを、どんな時に感じたのかエピソードも入れて書く。 ・調べている中で心に残ったエピソードは？	とがんばりです！ ・予想や調べようと思ったきっかけや理由と、ふりかえりで考えたことがつながっているかな？ ・感想の残念な例 すごくがんばった すごく大変だった 楽しかった おもしろかった →なにをしたとき？ どんなことが？ →特に心に残っているエピソードは？ ・考察と感想は同じではありません。分からないときは、一回、文章に書き出してみて、どちらに当てはまるか整理してみよう。
8	本のように作ってしあげる（製本）	★作品のタイトルをつける ・タイトルは顔。調べて強く思ったことを入れて、他の人が「見たい！読みたい！」と思うような言葉でつけよう ★表紙を作る ・イラストや写真などもくわえて、すてきに仕上げよう。 ・学校名・学年・名前をわすれずに書こう	※「～について」は※ あらいみアドバイス！ あなたの作品への思いが伝わる素敵な題をつけてね。 ※ビーズや木の実などでこぼこするものはとれやすいので、はらない。

考察と感想はちがうよ。

考察は分かったことをもとに考えたり、自分が変わったこと、それはなぜかについて書こう。
感想は、調べているとき、おもしろかったことや、がんばったこと、感動したことを書こう。



できあがり！
さいごまでよくがんばりました。

やったー！
できた!!
よくがんばりました。
ページ数50Pはだ
いじょうぶですか？
参考資料リストは、
ページ数に入れなく
ていいですよ。



★大きな台紙（画用紙など、コンクール出品の場合は B4 または八つ切りサイズまで）に順番に張ったり、書いたりして、調べたことを見やすくまとめる

- A4 のポケットファイルを利用して書いたレポートをポケットに入れていくのもよい方法です。

内容の順番は

1 タイトル（表紙）

2 目次

- 3より後ろの内容には忘れずにページ番号を書こう（50 ページまで）

3 調べるテーマ・疑問について

4 調べようと思ったきっかけやわけ

5 自分の予想（仮説）

6 調べた方法について

7 調べて分かったこと

8 考察

9 感想

10 参考資料リスト

- 情報カードの出番です

メモしておいた使った本、新聞、雑誌、パンフレット、サイトなどの記録・協力してもらった人なども書こう

※ 図書館振興財団の調べる学習コンクールホームページにもリストの元がのっています。
ダウンロードして使ってください。

だいたいこんなふうにできあがれば OK です！

1	ひょうし 表紙・タイトル	どんなことについて調べたかがよく分かり、自分がいちばん伝えたいことをタイトルにしてみましょう。
2	もくじ	どのページに何が書いてあるのか、ここを見ただけでだいたいの内容が分かるようにしましょう。
3	はじめに	なぜテーマに興味をもったのか、どんな疑問をもって調べ

	(調べたきっかけ)	始めたのかを書きましょう。できるだけ、身近なエピソードも交えて、ていねいにたくさん書けるといいですね。
4	ほんぶん 本文1	「何について調べたかや予想」 ※なぜそのような予想を立てたのかの理由も、自分のこれまでの体験から書けるといいですね。 「どのような方法で調べたか」を書きます。 ※実験や観察、見学など様子を伝えたいときは、図や絵、写真もそえましょう。
5	ほんぶん 本文2	「調べて何が分かったか」を書きます。 ※グラフや図、絵、写真など目で見てよく分かり、アピールするようにします。出典を忘れずに！ 大事なところは文字の色や大きさを変えるとよく伝わります。
6	まとめ (考察・感想)	「(予想と比べてたりして)考えたこと」を書きます。 ※資料や情報をもとにして、自分の考えが広がったり変わったりしたことを文章に書いて伝えましょう。 「活動して感じたこと」も書きましょう。
7	さんこうしりょう 参考資料リスト	調べるときに使った本、Web サイト、新聞、人、場所などについて題名や名前を書きます。

保護者の方へ ～調べる学習コンクールの応募形式について～

- サイズ
小学生 B4 サイズまで (八つ切りサイズも可、A4 の可)
中学生 A4 サイズまで
※模造紙等にまとめる場合は、上記サイズに折りたたむこと
- ページ数
本文 50 ページ以内
表紙・目次・参考文献リストは含まない
※パソコンで入力する場合は 11 ポイント以上、
1 ページの文字数は 1000 文字を目安とする。
- 必ず書くこと
調べたときに利用した資料名 (出典) と図書館名など参考資料リスト
※参考資料リストはお子さんの成長に合わせ、保護者の方が記入していただいても、だいじょうぶです。

※こんな本もよいヒントになります。

「調べるって、おもしろい！！マンガでわかる小学生の調べる学習ガイド」
 こうえきざいだんほうじんとしょうかんしんこうざいだんかんしゅう いわさきしよてんへんしゅうぶへんちや いわさきしよてん
 公益財団法人図書館振興財団監修 岩崎書店編集部編著 岩崎書店

「改訂版 調べ学習の基礎の基礎 だれでもできる赤木かん子の魔法の図書館学」
赤木かん子著 ポプラ社

じょうほう みほん ほん つか
情報カード見本（本を使うとき）

じょうほうカード

☆ だいじなことをえらんでかきうつそう

しらべたこと

--	--	--

しよめいほん 書名（本のなまえ）	ひとが 書いた人	しゅっぱんしゃ 出版社

じょうほう 情報カード 見本 (インターネットをつかうとき)

じょうほうカード ☆ だいじなことをえらんでかきうつそう

しらべたこと しらべた日 月 日

Web ページ名	Web サイト名	作った人・団体
URL		こうしんねんがっぴ 更新年月日

お子さんの通われている学校の図書館にも
 普段から学習で使っている情報カードや思考ツールプリントが
 備えられていると思います。
 担任の先生や学校司書（図書館の先生）に相談して、使いたいものを
 分けてもらってもいいですよ。

